

令和7年度 七尾市立東湊小学校 学校だより 令和7年 6月 2日



東湊っ子

No.3

TEL: 52-3149 FAX: 52-1200

E-mail: minatosho@edu.city.nanao.ishikawa.jp 文責: 基村

「人権教室」「人権の花運動」

5月8日に「人権教室」と「人権の花運動」がありました。

当日は、金沢地方法務局七尾支局長の小川卓也様をはじめ七尾人権擁護委員協議会よりたくさんの委員の方にご来校いただきました。

はじめに「人権教室」があり、人権に関するDVDを視聴した後、人権についてのグループ討議を行いました。DVDの内容は「いじめ」についてとりあげたもので、6年生は「なぜいじめが起きるのか」「どうすればいじめがなく、みんなが仲良く過ごせるのか」等について真剣に話し合っていました。

その後、「人権の花運動」の花苗の植え付けを行い、1人が1つのプランターに3苗ずつ植えていきました。「人権の花」は「思いやりの花」でもあります。人権の花を大切に育て、思いやりでいっぱいの学校にしていきたいです。

「人権の花」のプランターは本校児童玄関前に設置いたしました。地域・保護者の皆様におかれましては、ご来校の折にぜひご覧いただければと存じます。



「交通安全教室」

5月27日にPTA育成ふれあい委員会の主催で「交通安全教室」が開催されました。講師は七尾警察署と七尾自動車学校の署員・職員の方々で低・中・高学年に分かれて実施しました。

低学年は、はじめに交通安全のきまりについてクイズを交えながら学んだ後、安全な横断歩道の渡り方を指導していただきました。中学年は、安全な自転車の乗り方について説明を受けた後、自転車の走行シミュレーターを使って、安全確認や右折・左折・停止などについて具体的に学んでいきました。高学年は、道路交通法の改正に伴って自転車走行時のヘルメットの着用が義務化されましたが、「なぜヘルメットを着用した方がよいのか」「ヘルメットを着用するのとしないのでは万一の際にダメージがどれくらい違うのか」などについてしっかりと学ぶことができました。

この日の交通安全教室で学んだことをしっかりと実践していくことができるよう、今後も交通安全週間などの機会をとらえてくり返し交通安全・生活安全への呼びかけをしていきたいと思います。ご家庭におきましても日々のお声かけ等、よろしくお願いします。



水墨画教室(6年)

5月20日、21日に橋元道彦先生をお招きして、水墨画教室を開催いたしました。七尾市では七尾出身の画家・長谷川等伯に因んで、毎年全小学校で水墨画のチャレンジしてもらい、市内に展示する取組を行っております。普段の習字では墨汁を使うことがほとんどで、墨をするのも初めてという児童も多かったのですが、6年生は橋元先生の説明をしっかりと聞いてコツをつかみ、墨の濃淡を上手に使い分けて素晴らしい作品に仕上げていきました。作品の展示時期・場所は現在未定ですが、決定し次第お伝えいたします。



田植え体験(5年)

5月12日、5年生が田植えの体験をしました。

J Aの方から手作業での植え方の説明を聞き、苗の束を受け取って、田んぼの中に脚を踏み入れていきます。子どもたちは、はじめは泥の感触や脚をとられて思うように動けなる感覚に驚いていた様子でしたが、すぐに慣れ、どの子も一生懸命、稻を植え付けていました。

私たちがほぼ毎日食べているお米ですが、そのお米がどのように作られているのか、その一端を体験することで、子どもたちは改めてお米の大切さや有難さを感じているようでした。



でか山教室(4年)

青柏祭に先立って、4年生が大地主神社で行われたでか山教室に参加しました。大地主神社の宮司さんやでか山保存会の方から、青柏祭の歴史やでか山の構造・組立て方などについて説明していました。その後、でか山の運行に使用する道具を使ってみたり、でか山の下からもぐって中の様子を間近で見たりして、500年以上続くでか山の文化に触れました。最後には保存会の方から「この祭りを未来に受け継いでいってほしい。そして、久しぶりとなる祭りを開催することで能登の復興の足がかりとしてほしい」というお話を聞きました。

子どもたちは市の四大祭りの一つである青柏祭への興味を一層高めているようでした。



音楽鑑賞～金大生による音楽祭～(3年)

5月31日、金沢大学の学校教育学類の学生さんたちによる音楽祭がありました。昨年度、被災地支援の一環として企画してくださったのですが、今年度も引き続き開催していただきました。

はじめに、いろいろな楽器の紹介も兼ねた演奏があり、その後サンサーンスの『動物の謝肉祭』を披露していただきました。演奏の前に「どんな動物を表現しているのか」と問いかけて鑑賞する際の視点を示すなどの工夫もありました。また、いろいろな楽器を組み合わせた楽曲や「ドレミパイプ」という珍しい楽器を使った演奏もあり、最後は児童と学生と一緒に合唱をして終わりました。とても楽しい時間で、あつという間の45分間でした。



東湊っ子の活躍



◆七尾みなとロータリークラブ杯第5回U11バスケットボール中島大会(3/23)

☆【第4位】

尾橋莉空(6年) 川内陽香莉(6年) 高松優那(6年) 井坂心桜(4年) 新出彩葉(4年)

◆第5回Jr.ハイタッチカップ(4/19)

☆【優勝】七尾ブルドッグ

◆第46回七尾市学童野球春季大会(兼第31回市長杯争奪大会)(4/19)

☆【優勝】東湊ベアーズ

梅村怜生(6年) 北橋橙真(6年) 坂口夢翔(6年) 崎田偉生(6年) 塩村光翔(6年)

田中琢朗(6年) 田中陽斗(6年) 浜菜凜士(6年) 茅崎晃希(5年) 平下遙翔(5年)

笠谷涼(3年) 高沢勇人(3年) 田中淳翔(3年) 松木楓汰(1年)

◆辰巳化学旗争奪第12回白山カップ小学生バレー交流大会(5/4)

☆【敢闘賞】七尾スタークリッズ

森下小枝(4年)

◆第26回百万石杯金沢市小学生交流バレー交流大会(5/11)

☆【第3位】七尾スタークリッズ

◆第3回全福井空手道「型」選手権大会

☆小学6年中級の部【第3位】山崎奏空(6年)

◆高円宮賜杯第45回全日本学童軟式野球大会マクドナルドトーナメント七尾支部予選大会

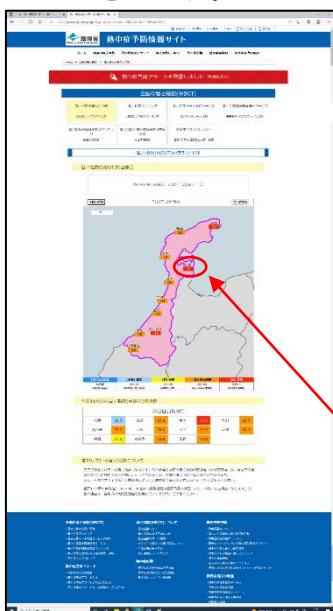
(兼第38回のとしん理事長旗争奪学童野球大会)(5/24)

☆【優勝】東湊ベアーズ

熱中症対策に向けて

ここ数年、大変暑い夏が続いております。今年も猛暑となる見方が有力です。ご家庭でも充分にご注意されていることと存じますが、子どもたちがより安全に過ごしていくための一つの参考として、環境省の「熱中症予防情報サイト」についてご紹介させていただきます。

この「熱中症予防情報サイト」にアクセスすると、都道府県単位で発表される「熱中症警戒アラート」が石川県で発表されているかどうかが分かります。石川県では、令和6年度に17回、令和5年度には36回発表されています。また、七尾地区の暑さ指数(WBGT)が1時間毎に更新され、その指数によって熱中症を防ぐための生活や運動の行動指針を判断することができます(指数が31以上になると要注意)。「熱中症予防情報サイト」のURLは、<https://www.wbgt.env.go.jp> です。必要に応じて、ご活用いただければと思います。



運動に関する指針			
気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31~35℃	28~31	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避けよう。 10~20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行おう。 暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
28~31℃	25~28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24~28℃	21~25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の発候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給が必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

(公財)日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

七尾地区の暑さ指数が
表示されます。
(1時間ごとに更新)

なお、6月は熱中症警戒アラートが発表されていなくても、身体が暑さに慣れていないため熱中症になってしまう例がありますので、体調に合わせた適切な水分補給等、注意が必要です。